

災害の備えできていますか？

令和6年能登半島地震から約2か月。地震や津波についての知識はあるものの、災害が起きた時の「備え」できていますか？
防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ普段の生活の中で利用されている食品などを備えるようにしたいですね。



家具の置き方

- ・転倒しないように、壁に固定
- ・倒れた時に出入り口をふさがらないような向き・配置
- ・手の届くところに懐中電灯やホイッスルを



食料・飲料・生活必需品などの備蓄

- ・飲料水（1人1日3リットル）
- ・非常食3日分（ご飯、ビスケット、板チョコ、乾パンなど）
- ・トイレトーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロなど

非常用持ち出しバックの準備

水、食品、ヘルメット、衣類、レインウェア、紐なし靴、懐中電灯、携帯ラジオ、携帯用充電器、予備電池、マッチ、ろうそく、救急用品、使い捨てカイロ、ブランケット、軍手、洗面用具、歯ブラシ、歯磨き粉、タオル、ペン、ノート、マスク、アルコール消毒 など



この写真誰だろう？クイズ～！



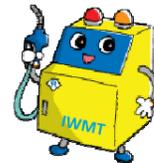
①大好物は手巻き寿司
(ヒント：トランポリン歴7年)



②ウルトラマンになりたいな
(ヒント：3児の父)

ヒントを参考にどの写真が誰か当ててみてね♪
結果は次月号のお楽しみです。次はあなたの番！？

前月号の結果は以下の通りです♪
当たりましたか～？？



- ①ドラクエ大好き ⇒ 山岸さん
- ②将来の夢はサッカー選手 ⇒ 荒木さん

編集後記

もうすぐ3月に入りますが、1～2月は例年とは違い暖かい日には4月中旬並みまで気温が上がり、寒暖差が極端に激しい日が続いています。それに加えて、インフルエンザやコロナウイルスも流行していますので今一度体調管理を徹底して、健康第一でいきましょう！
荒木

新年早々に大地震が有り大きな被害と共に家族や友人を失われた方々には、自然災害の破壊力に唯々驚くばかりで慰めの言葉すら浮かびません。家屋が倒壊し失業・廃業を余儀なくされたり、悲しさや失意に打ち拉がれて途方に暮れている様相には遣り処の無さや無力を痛感します。日本は自然災害が非常に多く其の度に遅く復興を遂げているのですが、だからこそ自然と共生し合いながら、慈しむ優しく助け合う互助精神が生まれたのだと思います。それと共に災害を克服する為には大洪水に対処する治水や地震・津波からは高台へとの知恵が働いています。先人の警鐘を忘れて経済優先の元、住宅地を確保するために沿岸部や山を切り崩しての開発は急激な人口増加に対処せざるを得なかったからでしょう。

地球上ではトルコ地震(2023年5.6万人) ハイチ地震(2010年20万人) 四川地震(2008年9万人) パキスタン地震(2005年7万人) スマトラ地震(2004年20万人) イラン地震(2003年4万人) 発展途上国で残念なことは土壁やレンガ(ブロック)で作られた家々は崩落しましたが、日本(耐震性)基準の建築法(結束針金で鉄筋&モルタル注入)だと圧死者数は1/10以下に抑えられたと思います。

当たり前、が突然消え失せてしまうのですから。ああすれば、こうすれば・・・後悔しなければならない事が走馬灯のように駆け巡り混乱するでしょう。不吉な事を考える必要は有りませんが、もしも突然に災害や事故でファミリー・身近な知人が亡くなれば大きな悲しみ・どうしようもない喪失感に晒されます。涙も枯れは後悔する事ばかりだと思われれます。他人事として受け止めず、我が身に降り注いだ場合を想定すれば如何に普通に居られる事の重要さ・幸せを再認識出来るのではないのでしょうか？人生の目的は先ずは自分自身の幸せ。人により価値観は違いますが少なくとも“必要以上のお金”ではないと思います。独り身であれば年収は最小限300万円、4人家族ですと500万円。子供の進学やマイホームなどは生活設計を計画的に組めば、足りない稼ぎは共稼ぎやアルバイトで心身共に健康であれば何とか工面出来るものです。その過程で感謝の気持ちや“有難う！”を多く言えば社会生活を豊かに送れる事を保証できます。

経済停滞で失われた35年と言われますが、私はそうは思いません。確かに停滞気味ではありますが世界の経済は拙速すぎると思います。国民は優しく思いやりが有り、誇りに思えるのは“安全性”。難民受け入れは立派だと思いますがヨーロッパ諸国は経済最優先で外国人労働者を多く入国させ治安が脅かされています。日本は順次実習生として受け入れれば三年間で日本の実情を理解し、本人の意思で再入国が適えられる環境造りは素晴らしいと思います。円安で手っ取り早く稼ぎたい方々はオーストラリアなどの国では3倍の収入を得られるでしょうが物価は3倍で人種差別や治安の悪さを考えれば、現実に家族を呼び寄せ子供の教育などを考える懸命な特定技能者となる人材は日本を選んでいるようです。

理想論でしょうが、そのような人財は帰化して頂き、日本人として同化して下さることが日本の豊かさになるでしょう！！

令和6年能登半島地震義援金に寄付させていただきました

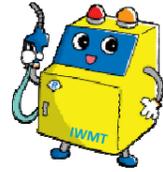


この度の令和6年能登半島地震におきまして、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。石川県鉄工機電協会を通じて会社から¥300,000、清風会から¥150,000を寄付させていただきました。被災地の皆様の安全と一日も早い復興をお祈り申し上げます。



有給休暇の取得率実績と活用法

年次有給休暇の他に、**時間単位年休取得制度**を導入しました。
時間年休を取得した方に、どのように活用したかインタビューしてみました。



岩本工業の
年次有給休暇の取得率

76.0%

(昨年度実績)
製造業平均では62.6%



予約制の病院へ行きました。
1日や半日でなく数時間でも
取得できるのがありがたいです

子供の参観日だったので、数時間
だけと思い利用しました。
時間を有効に使えました



企業調査での時間年休を導入している企業は**22%**と比較的少ないですが、取得することで年休取得の促進や個々の事情に対応した休暇が可能になります。時間単位年休は事前に申請が必要ですが、1日や半日には満たない時間の取得ができます。ぜひ活用していきましょう。

社員のウラの顔?!をリサーチします

実は私、○○なんです!



今回は第1係の石倉さんをリサーチしました♪
実は『**麻雀士**』なんです!早速色々探っていきましょう~

1. 麻雀を始めたきっかけは?

高校2年生の時、友人が麻雀の教則本を見て、「何それ?」となったことです。

2. 麻雀歴は?

一時期打ってなかった時もありましたが、17歳からなので、24年ほどになります。

3. 麻雀士としてどんなことをしている?

自主的な活動として、所属団体問わず麻雀士の方々と交流したいという想いで、各地で開催されているリーグに参戦したり、他県に遠征に行ったりしています。そして地域貢献になればとの想いで、松任公民館でおこなわれている健康麻雀教室の理事として参加させてもらっています。また、麻雀がきっかけで石川県の伝統工芸の山中塗の職人さんと知り合ったことで、山中塗と麻雀がコラボレーションしたグッズをプロデュースさせてもらいました。

4. 麻雀の楽しさ、面白さをアピールしてください!

子どもからお年寄りまで、誰でもできる点です。昨年石川県で開かれた国民文化祭の健康麻雀交流大会では最年少が7歳、最高齢が91歳でした。従来の認知症予防の効果に加え、子どもの頃から麻雀をしている子はIQが高くなるという脳科学論文が発表されています。何事も新しいことを始めるのは大変かもしれませんが、その先には苦勞の何倍もの楽しさや出会いが待っています。最近はとて簡単で分かりやすい本や、ネットにも情報がたくさん載っていますので、麻雀に興味を持った方はぜひ挑戦してみてください。



麻雀仲間と石倉さん(左上)

改善提案

2023年で効果の大きかったS賞2件をご紹介します!
(S賞12件、A賞14件、B賞27件、C賞61件、D賞48件 計162件)

スポーツ観戦(プロレス)が
大好きでハマっています



村松さん(4係)

【改善前】

面取りカッターを使用して面取りするところがあり、材料が硬く力があるため女性では時間もかかり、力も必要だった。

作業時間: 1回1.66分

【改善後】

ベビーグラインダで面取りすることに変更した。力もいらず時間も短縮できた。

作業時間: 1個0.33分(1.33分の短縮)

月生産台数: 約530個

年間効果金額: 529,620円(当社計算方式による)

冬は雪山へ行くのが楽しみ
です(スキー)



久保出さん(1係)

【改善前】

ULTY701の2工程のうち、1工程目の加工時間が45分だった。

1工程: 45分

【改善後】

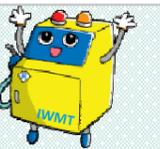
倉部移転に伴い工具の変更や加工条件の改善を行った。(スマートダンパー購入)同一行程の加工時間が30分に短縮できた。

作業時間: 30分(15分の短縮)

月生産台数: 約40個

年間効果金額: 360,000円(当社計算方式による)

社員一人一人がコスト意識を持つことで考える力や自主性を養う事を目的とし、社内での改善提案活動を行っております。
今後も、日々の生産から積極的に改善活動していきましょう!



REPORT

石川県鉄工機電協会主催
11月7日、8日 第4係 的場

【現場のための電気保全技術】

何を学んだか

- ・電圧と配電方式(低圧と高圧、電線、単相と三相)
- ・電気災害と対応策(感電、短路、漏電)
- ・測定機器の取り扱い(テスター、絶縁抵抗計、接地抵抗計、クランプメーターetc)
- ・トラブルと対策(リレー、マグネットコンタクト、サーマルの仕組みと回路でのトラブル)
- ・テスターでの測定だけでも使用レンジを間違えると災害につながる危険がある

自身のアクションプラン

- ・社内にある電気の測定具の把握
- ・設備故障時に電気的原因追及も行う
- ・保全の検定試験に挑戦

